

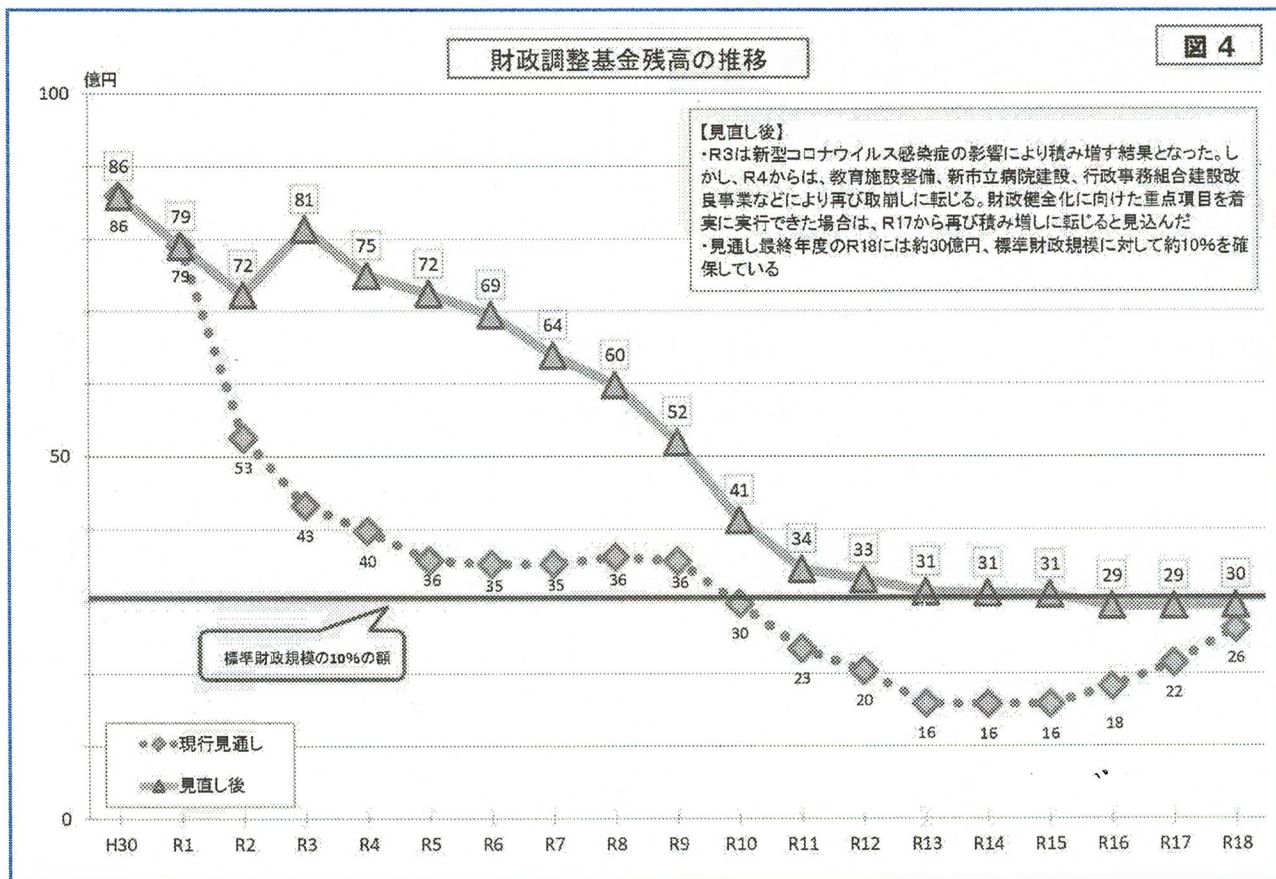
奥州市の財政健全化

市民や職員に過度な負担では？

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



令和4年9月議会では、令和3年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算の審査が行われました。その審査内容の一部を紹介します。（グラフ及び表は市当局資料より。）

令和3年度一般会計の繰越は27億3千万円となりました。その中には、国への返還7億円も含まれますが、歳入増加や財政健全化の行革効果7億5千万円も大きく貢献しました。財政調整基金には9億円繰り入れられました。

令和3年度末の一般会計財政調整基金は81億3千万円となりました。

令和2年6月の財務部の市民説明では、財政健全化重点項目に取り組みないと令和5年度末に財政調整基金が枯渇するとのことでした。その説明での令和3年度末見込み額は43億2千万円であり、実際には38億1千万円も多くなりました。

財政調整基金が大きく増えた背景には、公共施設の整理合理化や職員人件費の抑制、使用料と減免基準の見直しなどの財政健全

単位：千円

	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高
一般会計 財政調整基金	7,226,245	8,130,809
国民健康保険事業 財政調整基金	1,649,328	1,534,663
介護給費 準備基金	1,127,587	1,015,524

化への取り組みがあります。市民や職員に必要以上の負担をかけてきた結果と思われます。これらの余裕は、市民の福祉向上、子育て支援等に多く振り向けるべきと考えます。

国保税と介護保険料の引き上げ必要なかった

令和3年度国保の決算では、税率引き上げもあり、保険税収が2億円増えました。当局の答弁でも、単年度収支の赤字予想が均衡まで

改善したことを認めています。国保会計の財政調整基金は、令和3年度見込み額10億円を大きく上回る15億3千万円となりました。結果として国保税率を引き上げる必要はなかったのではないかと考えます。

介護保険料も令和3年度から1カ月200円引き上げられました。介護給付費準備基金は、取崩しがあっても、基金残高は10億円もあります。介護保険料の引き上げも必要なかったのではないかと考えます。



日本共産党
県議会議員
千田みつ子

10月12日

消費税のインボイス制度は実施凍結・中止を！

10月7日、県内で活動している諸団体が県議会議員に対し、県民の命とくらしを守るための請願を提出しました。

岩商連は、消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施凍結・中止を求める請願を行い、私も紹介議員になりました。

岩商連の関沢会長は、コロナ禍と物価高騰の中、2023年10月からインボイス制度が実施されれば、地域の中小業者は深刻な影響を受けることになることや、制度

自体が多くの人に知られていないことが問題だ！と強調しました。

また、県生協連は、福祉灯油の全33市町村での実施を求める請願書を、岩手医労連は、医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願書を提出しました。



岩手県商工団体連合会（岩商連）による県議会議員への請願提出